

中央アジア史 I

科目ナンバリング HAA-223
選択 2単位

山内 和也

1. 授業の概要(ねらい)

中央アジアは洋の東西を結ぶユーラシア大陸の中央部に位置する地域です。このユーラシア大陸、そして中央アジアを貫くシルクロード、すなわち「絹の道」は物だけでなく、さまざまな宗教を洋の東西に伝えるとともに、たくさんの人たちが往来する道でもあり、私たちの文化の交流、人間の交流の歴史において大きな役割を果たしてきました。この授業では、中央アジア、そしてシルクロードに焦点をあて、キルギス共和国のアク・ベシム遺跡を具体的な事例としてとりあげ、その時代の歴史や文化を学びます。また外部の専門家の招へいや帝京大学シルクロード学術調査団の調査の成果の紹介を通して、シルクロードそして中央アジアに対する多角的な視点を学びます。

2. 授業の到達目標

中央アジアの世界を理解すること、そして中央アジアが持つ歴史的なダイナミズムを理解すること。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験70%、課題レポート20%、授業参加状況10%

4. 教科書・参考文献

教科書
なし

参考文献

宇山智彦編 『中央アジアを知るための60章』2003年 明石書店
小松久男・梅村坦・宇山智彦・帯谷知可・堀川徹(共編) 『中央ユーラシアを知る事典』2005年 平凡社
小松久男(編) 『テュルクを知るための61章』2016年 明石書店
シルクロード検定実行委員会編 『読む事典 シルクロードの世界』 NHK出版

5. 準備学修の内容

授業で指示する課題についてレポートをまとめること、博物館や美術館で展示されている中央アジアあるいは西アジア地域の考古遺物、美術・芸術作品を積極的に鑑賞すること。

6. その他履修上の注意事項

中央アジアは日本人にとって近くて遠い地域にあたります。その一方で、中央アジアを通るシルクロードを通じて、日本にはさまざまな文化が伝わりました。中央アジアそのものだけでなく、過去から現在まで続く日本との関係についても興味を持っていただきたいと思います。

7. 授業内容

- 【第1回】 シルクロードと中央アジア世界を知る
- 【第2回】 グレートゲームと探検の時代とは何か
- 【第3回】 シルクロードの民ソグド人とその言語
- 【第4回】 ソグド人の歴史と文化1
- 【第5回】 ソグド人の歴史と文化2
- 【第6回】 中国へ進出したソグド人
- 【第7回】 玄奘がたどったシルクロード
- 【第8回】 アク・ベシム(スイヤブ)遺跡とは何か
- 【第9回】 ソグド人の街スイヤブ
- 【第10回】 スイヤブに残されたキリスト教会
- 【第11回】 唐の碎葉鎮城を求めて
- 【第12回】 唐の碎葉鎮城を掘る
- 【第13回】 アク・ベシム遺跡の現場からのメッセージー帝京大学シルクロード学術調査団の成果ー
- 【第14回】 アク・ベシム遺跡が語るもの
- 【第15回】 まとめ:シルクロード、そして中央アジア世界の重要性を考える